

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>全員で協働し理念を作り上げている。</p>	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>毎朝の朝礼にて、職員全員で、唱和をし、理念の意識づけを行う。</p>	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>事業所の理念を玄関や事務所の中に掲示している。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>隣接する介護保険施設の入所者や、通所を利用されている方がお茶を飲みに来られたり、近所の方などがボランティアでお花を植えて来て下さるなど、気軽に来られる様な雰囲気作りに努めている。</p>	
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>隣接する介護保険施設と合同で、敬老会や誕生会などを行ったり、書道指導のボランティアが来訪される。また、中学生が体験学習に来たり、地域の文化祭に作品を出品・見学などに参加している。また青年部の方が、樽みこしで来訪される。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	介護実習や研修などを行い、それらを活かして地域の介護教室等を行っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価を受ける事で、それぞれの職員が改めて意義を理解し、指摘・課題部分の改善にも取り組んでいる。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、活動状況・入居者の状況・事故報告等を行いそこでの意見をサービスの向上に活かしている。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	電話連絡や、必要に応じては行き来をするなど、情報の交換を行う事で、サービスの質の向上に努めている。。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	講習などに参加し、家族会を開きながら情報を提供している。今の所、必要な方はおられないが、支援できる体制は整えている。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修や、委員会を通して職員に伝達したり、ミーティングなどを行い虐待の防止に努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前に見学をされたり、契約時には十分に説明を行い、理解・納得をして頂いている。解約時には、ご家族との話し合いの上、次の機関などの相談に応じている。		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期的にアンケートを実施したり、話し合いの場を設け、それらを運営に反映させている。		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	入居者様の状況については、来訪時や、なびき便りにてお知している。金銭管理については、月末に事務の方から領収書をお渡している。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情箱の設置や、家族会・または来訪時に伺ったりし、運営に反映させている。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期時のミーティング・共有ノートを活用する事で、業務に活かしている。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	毎朝の朝礼での報告や、必要に応じては緊急にミーティングを開き、要望に対応できる様に努めている。		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者のダメージを防ぐ配慮をし、必要最小限に抑えている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○人権の尊重</p> <p>法人の代表及び管理者は職員の募集・採用にあつたては性別や年齢を理由に対象者からは排除しないようにしている。又事業所で働く職員についてもその能力を発揮して生き生きと勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している。</p>	<p>職員の採用に対しては、特別な規定は設けていない。在職中の職員には、趣味や能力を発揮できる様な環境を整えている。</p>	
20	<p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>	<p>研修に参加し、ミーティングで伝達を行っている。</p>	
21	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>隣接する介護保険施設の研修や、苑外研修などに参加している。</p>	
22	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>徘徊ネットワークや、地域で開かれる勉強会に参加し、サービスの質の向上に活かしている。</p>	
23	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>隣接する介護保険施設の施設長によるメンタルヘルスや、希望休などに応じている。</p>	
24	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>研修・講習などに参加できる様な勤務体制や、環境作りに努めている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	見学や、相談時などにゆっくり時間を設け、本人様の話を傾聴し、受容している。	
26	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談時などに、ご家族が困っている事・不安な事・求めている事などを傾聴し、受容している。	
27	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	
28	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	まず初めに、本人様の不安を取り除ける様、周囲との馴染みの関係作りから行っている。居室には、使い慣れた家具や写真を飾るなど、馴染みの環境を整えている。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>畑作りなどで、入居者様からいろいろ教えて頂いたり、おやつ作りや工作・書道を行ったり、コミュニケーションをとりながら、関係作りを築いている。</p>	
30	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>年に一度、家族ふれあい会などの交流の場を設けている。面会時には、家族の方との会話もあり、コミュニケーションを密にとっている。</p>	
31	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>父の日・母の日・また敬老の日など、ご家族からのメッセージをお願いし、ふれあい会では、本人様と家族はもちろん、家族同士の交流もとれている。</p>	
32	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご家族を始め、知人など、電話の依頼に応じたり、面会時には、自室にてお茶などを飲みながら、ゆっくりとした時間を過ごして頂いている。</p>	
33	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>ほぼ、リビングにて皆様で過ごす時間が多く、会話をしたり、ゲームや運動などして、楽しく過ごして頂いている。</p>	
34	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>ご家族の方が遊びに来て下さったり、また、手紙や電話などで、近況を尋ねるなど、連絡を続けている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
35	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時に本人様の希望を聞き、できる限りの支援を行う。また、一人ひとりのADL・要望に合った支援方法を検討し、職員間で共有している。	
36	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	担当者を中心に、フェイスシートを作成、それらを全員で共有しながら、馴染みの暮らし方に近づける様、支援している。	
37	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ADLの差など、一人ひとりの状態を常に把握し、現状にあったケアを行っている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日頃の状況を把握し、ケアカンファなどで情報の交換を行い、介護計画を作成。また、本人様・ご家族などの要望も取り入れている。	
39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状況の変化に応じてプランの作成を行う。また、担当者を中心に、定期的なモニタリングで現状の把握・必要に応じたプランの変更を行っている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
40	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	その日の様子を細かく記録し、その内容を元に、職員間で情報を共有している。また、ケアプランにも反映している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご家族の要望にて、いつでも外泊・外出をされたり、一緒に生活リハビリを行うなど支援している。又、急な受診等、ご家族との連絡のもと、できる限りの対応を行い、本人様にとって一番良い方法を常に話し合っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	関係機関と協力し、消防訓練、救命救急時の対応、書道教室、文化展、コンサートなどに参加したり、支援をおこなっている。		
43	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人様の状況に合わせ、母体の介護保険施設との連携や、協力期間と話し合いを行い、対応している。		
44	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターで行う権利擁護事業の学習会などに参加し、施設にて活かしている。		
45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期受診等で、本人様と主治医との関係を築けるよう支援し、また状況によっては、電話等でも相談を行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主治医による定期受診、または必要に応じて、認知症専門の病院に受診するなど、医療機関との連携を図っている。		
47	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	母体の介護保険施設の看護師に協力を頂き、連携をとりながら日々の健康状態の把握に努めている。		
48	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	係りつけの医療機関との連絡を密にし、退院後に備えた準備を行っている。		
49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療を重視する場合は、早い段階で主治医の指示に従っているが、できる限りグループホームでの生活を希望されるご家族が多く、看護師の指示を仰ぎながら、現状での生活が維持できるよう支援している。		
50	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ADLの変化に伴い、ベットの交換・入浴法の検討など、一人ひとりに合った方法を取り入れ、生活の維持に努めている。また、必要に応じて母体の介護保険施設の協力を得ている。	○	ホーム内の環境が、自立に近いづくりである為、重度化した入居者様が増えるに従い、環境整備の必要性も多少は感じている。
51	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	今の所、他施設へ移られる場合は、病院がほとんどであるが、退院後の事も十分に話し合い、できる限りの支援は行っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人の保護に関する規定や利用目的を明記した書面を整備し、利用目的を説明した書面を入居者様、ご家族に交付し、玄関に掲示している。職員は入居者様の尊厳や権利に配慮した対応をしている。業務規定に、守秘義務を明記し、職員と契約書を取り交わしている。	
53	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者の思いや希望を傾聴したり、アンケートをとるなどし、ケアプランにおとし、支援を行っている。	
54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	東京センター方式で入居者の生活歴・職歴・日々の暮らしをアセスメントし、食事時間・起床・昼寝・就寝時間に柔軟に対応しており、、のんびりと穏やかな時間が経過している。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ご家族の協力をいただき、いきつけの美容室に行かれたり、併設施設に来られる理容室を利用される。着替えなどは家族に持ってきていただいたり、買い物に行かれたとき、利用者の好みの物を購入する。	
56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お好きな物をアンケートしたり、お聞きし、メニューーに取り入れたりする。 食事の準備や、盛り付け、配膳、片付け、茶碗拭き、テーブル拭きなど職員と一緒にいる。	
57	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲酒をされる方、おやつを自室で食される方などおられるも、誤嚥などの可能性もあるので、家族に何を持参されたのか情報をいただき、注視を行っている。又、現状では、喫煙される方はおられない。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	本人様のタイミングを見計らいながら、トイレの誘導・介助を行っている。又、夜間オムツを使用する方もおられますが、昼間は、リハパンにしてトイレ誘導を行ったり、パットの大きさを変えたり、お一人お一人に合わせた介助を行っている。		
59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一日おき、または二日おきに入浴を行っているが、本人様の体調や希望に応じ、変更もあり得る。また、失禁などで入浴が必要な方に対しては、その都度、状況に応じ対応している。		できる限り入浴などで、清潔が保たれるよう心がけている。
60	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	決められた時間だけではなく、本人様のペースに合わせて休息をされている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの個性を活かし、絵の好きな方には絵を、畑仕事が得意な方には、職員と一緒に野菜・花を植えるなど、本人様の役割と思える事を支援させて頂いている。		
62	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自分で所有できる方については、管理して頂き、また自己管理のできない方については、買い物の支援時等、本人様に付き添いながら、支払いの援助を行っている。		
63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	庭などには、見守りなどを行いながら、自由に出られる様にしており、気分転換の為に、定期的に外出や買い物の依頼に応じている。		職員の人数にも限りがあり、外出の場所などによっては、すぐに対応できない事もある。
64	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	入居者様の希望をもとに、月1回の外出行事や、ご家族の協力のもと日帰り旅行などを楽しむ機会を設けている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人様が出る時は、出来るように、出来ないときは、本人様の代わりに取り次いだり、支援をしている。		
66	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも気軽に訪問出来る雰囲気心を心がけており、訪問された時はお茶や、コーヒーをお出しし、自室や、リビングで談笑される。		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	苑内研修や、施設外研修に参加し、伝達ミーティングをしたり、リスク委員会での報告会など行い、身体拘束しないケアに取り組んでいる。		
68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は昼間、センサーや、見守りを行い、施錠しない対応を行っている。夜間は防犯のため、施錠を行っている。		
69	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	見守りや、定期的に所在の確認を行っている。		
70	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一人ひとりの状態に合わせて、使用時は職員が見守りを行う。		
71	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	それぞれ研修などに参加し、伝達講習を行い、一人ひとりの状態に応じた、事故防止に努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消防署の協力を得て、緊急時の対応や、苑内研修などで学び、伝達講習を行ったりしている。		
73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署や、併設の介護老人介護保険施設と合同の避難訓練を行ったり、運営推進会議などでの意見をいただいたり、地域の協力を得ている。		
74	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	面会時などに、日頃の状況を伝え、家族の協力を得ながら、本人様の負担にならない様リスク対応を行っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の変化など、気付いた時点で情報を共有し、連絡帳に記入、申し送りで報告を行っている。		
76	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を全員が確認し、理解をした上で服薬を行っている。また、症状が変化した時には、医師に確認している。		
77	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日の体操・水分摂取量の把握・食物繊維など、十分に摂取できる様、支援している。また、職員は、研修などに参加し、医療的・栄養的な部分も含めて学ぶ機会を設けている。		
78	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後お一人ずつ口腔ケアを行い、誤嚥性肺炎や感染予防に努めている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとり、バイタル表を活用し、水分摂取量の記入を行っている。栄養面では、栄養士の作成した献立にてバランスを取り、食事摂取の困難な方に対しては、トロミ・刻みなどの支援を行っている。		
80	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	入居者様には、手洗い・嗽の徹底。また、感染予防として、次亜を薄め、手すり・ドアノブ・トイレなどの共有物を1日2回消毒。その他、空気清浄機・加湿器などを活用。		
81	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板・包丁は、肉・野菜と区別をつけ、使用後はハイターにて除菌を行う。また、生ものは提供せず、必ず火を通してしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
82	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関は施錠する事なく、いつでも出入りできるようにしている。玄関の前のテラスには、ベンチを置き、近隣の方が休憩されたり、併設の介護老保健施設の入所者や、通所リハビリの方も気楽に休憩されたり、野外活動に使用される。		
83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	静かな落ち着いた空間で、天窗や玄関、窓などからは自然光が入り、玄関、居間、廊下などには、季節の花を生けたり、利用者が作成した作品を飾ったりしている。		
84	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室でテレビを見るのを好まれる方や、ソファで友人と過ごされる方、ご自分の席で過ごすのが好きな方などそれぞれ過ごし易い様に支援をしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
85	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の家具や仏壇を置いたり、ご家族の写真や本人様手作りの品を飾るなど、居心地よく過ごせる様にしている。		
86	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	大型の空気清浄機、加湿器、換気扇、冷暖房などを使用し、利用者の状況に合わせて、調整を行っている。また必要に応じて、芳香剤の使用をしている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、リビング、お風呂場、トイレの中などには手すりを設置、ベットの柵・滑り止めマットなどを設置する事で、自立支援を行っている。		
88	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	自室の目印になるようなものをつけたり、トイレなどを大きく、判り易い表示を行っている。		
89	○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	畑や花壇があり、野菜やお花作りをされたり、玄関のテラスには、ベンチがあり、日向ぼっこや、レクに使用したり、時にはお茶などを楽しまれる。		

V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度
		<input type="radio"/>	③たまに
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
		<input type="radio"/>	②少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	③あまり増えていない
		<input type="radio"/>	④全くいない
100	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

グループホームなびき職員一同、今年目標である”ABC運動”「当たり前の事を、びっくりするほど、ちゃんとする」を目標に、心地良い介護の提供をさせて頂いて来ました。生活リハビリを中心に、朝の清掃から始まり、食事準備・畑仕事など、ご自分の役割を生き生きとした表情でされています。又、開設当初から始めた書道教室も、8年目を迎え、楽しみながら上達する姿に感動し、続ける事の大切さを感じています。そして何より、自然に恵まれた環境の中、散歩をしたり、ゆっくりお茶を飲んだり・・・この様な時間を、皆様と一緒に過ごせる喜びを感じながら、今後も精一杯支援させて頂きたいと思っています。